

令和元年度 各在宅医療・介護連携センターの取組状況について(実績報告)

事業項目	久留米		小郡三井		大川三瀬		浮羽	
	実施	主な内容	実施	主な内容	実施	主な内容	実施	主な内容
① 研修実行委員会 (センターにより名称等は異なる)	○	-	○	-	○	-	○	-
② 多職種連携研修会	○	<ul style="list-style-type: none"> 「多職種で考えるACPとEOLケア」【参加者52人】 講師:神埼薬剤師会 理事 千代延 誠治先生 「多職種で考えるセーフティネット」【参加者48人】 講師:福岡県介護支援専門員協会 川島 豊輝氏 研修テーマ「医療と介護の連携から考える介護老人保健施設の役割」【参加者37人】 講師:高良台リハビリテーション病院MSW 山口 尚大氏 	○	<ul style="list-style-type: none"> 「各グループごとにテーマを決めての意見交換・情報交換」【参加者65人】 	○	<ul style="list-style-type: none"> 「在宅での看取りについて」 TASUKIリレー訪問看護ステーション三瀬センター 桑原 俊明氏 「在宅での看取りにおける医療介護連携」【参加者50名】 おおかわ総合ケアセンター 山田 明美氏 「地域ケア時代における理学療法士の関わり」 柳川リハビリテーション病院 理学療法士 村上 武土氏 「地域包括ケア時代における作業療法士の関わり」【参加者152名】 国際医療福祉大学・高井会グループ リハビリテーション部 作業療法士 室岡 真弘氏 	○	<ul style="list-style-type: none"> 「セラピスト間の情報共有で困っている点・共有したい点」【参加者47人】 講師:在宅医療介護連携センター事業 PTOTST部会 「地域包括ケアシステムとは?地域で活動する専門職が知っておくべきこと」【参加者72人】 講師:久留米リハビリテーション病院 今村純平RPT 「低栄養・フレイル～早めに気づき、早めにアプローチするためには～」【参加者61人】 講師:在宅訪問管理栄養士 小谷川 彰氏
③ 在宅医療・介護従事者研修会	○	<ul style="list-style-type: none"> 「誰にでもわかるACP(アドバンス・ケア・プランニング)【参加者124人】 講師:医療法人満岡クリニック 理事長 満岡 聰氏 「久留米市の地域ケア会議について」【参加者68人】 講師:久留米市役所 健康福祉部 長寿支援課 小山 敬介氏 「多職種連携における介護福祉士の専門性～介護教育の現場より～」【参加者52名】 講師:九州大谷短期大学 専攻科福祉専攻 教授 中村 京子氏 講演「久留米版 退院調整ルールについて」【参加者103人】 講師:久留米市健康福祉部保健所健康推進課 洪田 雄飛氏 	○	<ul style="list-style-type: none"> 「薬剤師の役割について」【参加者92人】 久留米三井薬剤師会 荒津 俊弘氏 最初の「気づき」が大切!～バイタルサインの捉え方～【参加者9人】 嶋田病院 集中ケア認定看護師 栗木 公孝氏 「一次救命処置」【参加者9名】 嶋田病院 集中ケア認定看護師 栗木 公孝氏 病態から考える「高齢に寄り添う糖尿病治療」【参加者63人】 嶋田病院内科部長・佐賀大学臨床教授 赤司 朋之氏 高齢者施設での流行期における感染対策【参加者14人】 嶋田病院 感染管理認定看護師 堀内氏 臨死期のケアについて【参加者15名】 嶋田病院 緩和ケア認定看護師 梅木 倫子氏 	○	<ul style="list-style-type: none"> 「褥瘡対策委員会での経験を通して多職種連携で求められるもの」【参加者96名】 上野病院 院長 鈴木康之先生 「ポジショニングとケアについて」 福田病院 新 優子氏 「介護職に伝えたい、容態急変者への初期対応について」 高木病院 救急医療部長権理 賢作氏 「救急要請に関する緊急度判定と心肺蘇生を望まない傷病者への対応について」 久留米市広域消防本部 救急防災課 岩橋 勝一氏【参加者 84名】 	○	など
④ 同行訪問研修会	○	<ul style="list-style-type: none"> 訪問看護・居宅療養管理指導(調剤薬局)研修会【6名】 訪問看護・居宅療養管理指導同行訪問【3名】 	○	嶋田病院 地域医療連携室看護師、訪問看護師による同行訪問【2名】			○	
講演会(市民公開講座)	○	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座【参加者80人】 講師:久留米市キャラバンメイト連絡会理事 梅本 和規氏 若年性認知症当事者のお話～本人の思い～ 聞き手:福岡県若年性認知症支援コーディネーター 中村 益子氏 「在宅で生き生き」～在宅での看取りアドバンス・ケア・プランニングを考える～【参加者 106人】 講師:さくらクリニック院長 桜井 隆氏 大阪北ホームケアクリニック院長 白山 宏人氏 	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 「ロコモってなんだろう?～立ったり、座ったり、歩いたりが遅くなって来にくくなることです～」【参加者65人】 清水整形外科医院 院長 清水 万喜生氏 「認知について」【参加者50名】 吉村医院 院長 吉村 篤氏 	○	
出前講座	○	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療について【参加者25人】 	○	<ul style="list-style-type: none"> ACPについての講話とACPノート「もしもの時に」の紹介【計24回、延参加者数522人】 講師:小郡三井医師会会長 島田 昇二郎氏 講師:嶋田病院 緩和ケア認定看護師 梅木 倫子氏 	○	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病にならないために～健康で暮らすためには～【参加者34人】 大川三瀬医師会 在宅医療支援相談員 宮原 和華子氏 訪問看護って何?【参加者15人】 三瀬医師会 在宅医療支援相談員 宮原 和華子氏 在宅医療について【計6回延参加者数124人】 大川三瀬医師会 在宅医療支援相談員 宮原 和華子氏 	○	<ul style="list-style-type: none"> 薬の正しい使い方【計4回参加者126人】 しらかべ調剤薬局 立山 勝規氏 ひがし薬局吉井店 東 誠司氏 歯の健康 いつまでも 口から食べる【参加者52人】 浮羽歯科医師会 在宅歯科医療連携室 歯科衛生士 樋口 久子氏

○令和元年度の各センター毎の事業総括(注力して取り組んでいる事業など)

- (久留米)
 ・多職種連携研修や在宅医療介護従事者研修等多くの研修を行ってきたので顔の見える関係ができてきたと思う。
 ・出前講座に関しては、委託前からも市によって行ってきたと思われるが、市民にさほど浸透していないと感じた地域もあり、在宅医療を進めていく事も大事だが、「自分や家族のこと」と本人に考えさせる普及啓発を市と一緒に考えていかなければいけないと思った。
 ・次年度はACPや医療職になじみがない分野の研修内容を行い、頭で理解するだけではなく実践することで覚えて、仕事だけでなく個々の生活に活かせる研修も行い、専門職や市民にACPや在宅医療介護連携に関する情報の提供をしていく。

- (小郡三井)
 ・医療と介護の情報共有支援のため、他自治体を参考としながら退院調整ルールの策定やアドバンス・ケアプランニング(ACP)シート作成に向けて取組を開始している。
 ・在宅医療・介護従事者研修会を通して、地域の医療・介護関係者が互いの業務の現状、役割、知識等を学び、医療と介護関係者間の連携に向けた取組を実施した。
 ・医療機関や介護事業所の在宅療養・介護の情報についてホームページの更新作業に取り組み、市民や関係者がより正確に地域資源を把握できるように努めた。

- (大川三瀬)
 ・多職種連携研修におけるグループワークや在宅医療介護従事者研修等を通して、地域の医療・介護関係者が互いの業務の現状、役割、知識等を学び、顔の見える関係が強化された。
 ・住民向け出前講座については、大木町での計画的な実施から取りかかり、久留米市域、大川市域にも取り組みを広げた。
 ・次年度は住民や医療介護従事者のニーズをアンケート等で把握しながらPDCAサイクルを意識して実施していく。

- (浮羽)
 多職種連携を目標に「顔の見える関係を作る」ことを目標とし、先ずは職種別各専門部会を中心に会議・事例検討等を行い職種毎の顔の見える関係づくりの構築に努めた。
 次に多職種を対象にスキルアップのための研修会・講演会等を各部会の代表者からなる運営委員会が企画し、開催することによって「多職種の顔の見える関係づくり」に努めた。

(参考)

項目	説明
① 研修実行委員会	研修の実施計画の作成に関する事項、研修会の開催に関する事項、研修会の運営上必要な事項について協議・検討するために多職種にて実行委員会を設置
② 多職種連携研修会	地域の医療・介護関係者がお互いの業務の現状等を知り、自由に意見交換ができる関係を構築するなど、現場レベルにおける医療と介護の連携促進のため、グループワーク等による研修会
③ 在宅医療・介護従事者研修会	地域の医療・介護専門職等に対して、それぞれの職種がお互いの分野についての知識を深め、関係者間の連携を円滑にすることを目的とした研修会
④ 同行訪問研修会	医療・介護関係者と地域の理解促進を目的に、医療機関等の医療・介護従事者の訪問見学等の研修会
⑤ 市民公開講座	在宅医療・介護連携に対する理解促進を目的に、住民に対し在宅医療や介護に関する講演会